

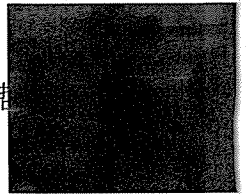
浜岡原子力発電所  
保安検査における指標の収集結果  
(平成30年度分)

本浜岡発第1号  
令和元年 6月21日

原子力規制委員会 殿

愛知県名古屋市東区東新町1番地  
中部電力株式会社  
代表取締役社長  
社長執行役員

勝野 哲



「保安検査における指標の収集について(指示)」(平成28年4月13日付け原規規発第1604135号)に基づき、浜岡原子力発電所 保安検査における指標の収集結果(平成30年度分)を次のとおり提出します。

浜岡原子力発電所 保安検査における指標の収集結果

中部電力株式会社

No.	分類	指標	収集データ	平成30年度	備考
1	作業計画	安全上重要な設備 <sup>※1</sup> 、重大事故等対処設備及び多様性拡張設備に対して計画された保守作業以外の保守作業件数及び完了済みの保守作業件数	安全上重要な設備 <sup>※1</sup> 、重大事故等対処設備及び多様性拡張設備に対して、保全計画で定められた定期的を実施するもの以外で突発的に実施する改造・修繕工事の回数(運転中および定期検査中に不具合等を発見し急遽改造・修繕工事を行った件数)。	330件	
2		安全上重要な設備 <sup>※1</sup> 、重大事故等対処設備及び多様性拡張設備に対して作業期間に係る計画変更を複数回行った件数	安全上重要な設備 <sup>※1</sup> 、重大事故等対処設備及び多様性拡張設備に対して、保全計画で定められた定期的を実施するもの以外で突発的に実施する改造・修繕工事(運転中および定期検査中に不具合等を発見し急遽行った改造・修繕工事)で、実施計画時に設定した作業期間を2回以上変更した件数。	16件	
3		手順書を変更して実施した作業件数	安全上重要な設備 <sup>※1</sup> 、重大事故等対処設備及び多様性拡張設備に対して、保全計画で定められた定期的を実施するもの以外で突発的に実施する改造・修繕工事の件数(運転中および定期検査中に不具合等を発見し急遽改造・修繕工事を行った件数)のうちの暫定的な改造工事件数。	123件	
4	訓練	訓練の種類別の合計実施回数・合計訓練時間・合計参加人数	①原災法に基づく総合訓練および要素訓練の回数・人数 ②①の訓練評価に係るコメント数(訓練報告書に記載するコメント数) ③SA成立性確認訓練(運転員を含む緊急安全対策要員対象)の回数・人数 ④③に関する合否実績	①-1総合訓練 2回 1014人 ①-2要素訓練 505回 2474人 ② 13件 ③ - ④ -	④SA成立性確認訓練実施後に収集する
5	リスク	定検期間中のΔCDF(炉心損傷確率の変化)の最大値	リスクモニタによる、再稼働後の定期検査期間中のCDF(炉心損傷確率)の評価結果のうち ①平均値 ②ピーク値	① - ② -	再稼働後に収集する
6	警報	制御室警報表示の点灯件数(予期せぬ警報に限る)	①燃料が原子炉にある際に計画外の「自動スクラム」信号が発生した回数。スクラムにはハーフスクラム(5号の場合は1区分動作の場合の誤発信)も含む。 ②「警報装置から発せられた警報」の警報発生回数。ただし、予期せぬ警報に限る	① - ② 20回	①燃料を装荷後に収集する(平成30年度は原子炉内に燃料を装荷していない)
7	安全文化	安全文化醸成活動に関する評価(検査)結果	安全文化醸成活動に関する評価(検査)結果 (安全文化総合評価票の総合所見の記載事項を流用)		浜岡原子力規制事務所から安全文化総合評価票が当社へ提示されなくなったことから、事業者からの提出は不要となった。
8	不適合関連	不適合発生件数	グレード別(クラスA, B1, B2)の不適合発生件数	クラスA 2件 クラスB1 171件 クラスB2 897件	
9		不適合の処置が完了するまでの平均期間	不適合(クラスA, B1, B2)のうち、年度末時点で処置が未完了となっている件数(過年度からの繰越し案件を含む)。なお、再稼働後に処置すべきとしていたものは除く。	クラスA 1件 クラスB1 31件 クラスB2 208件	
10		不適合の再発件数	クラスA, B1の不適合で再発した件数	3件 (クラスA 0件、クラスB1 3件)	
11		不適合のうち安全上重要な設備 <sup>※1</sup> に関する件数	クラスA, B1の不適合のうち、安全上重要な設備 <sup>※1</sup> に関する件数	41件 (クラスA 2件、クラスB1 39件)	
12		ヒューマン・エラーに起因する不適合件数	ヒューマンエラーに起因する不適合件数(クラスA, B1)	96件 (クラスA 0件、クラスB1 96件)	
13		不適合のうち水平展開が必要と判断した件数、完了するまでの期間及び完了件数	クラスA, B1の不適合のうち、 ①年度内に発生した不適合のうち水平展開が必要な件数 ②年度末時点で水平展開が未完了となっている不適合の件数(過年度からの繰越し案件を含む)。なお、再稼働後に水平展開すべきとしていたものは除く。	① 81件 ② 9件	
14	RCA	根本原因分析を要する事象件数と直接原因分析を要する事象件数	根本原因分析を要する事象件数と直接原因分析を要する事象件数	根本原因分析 0件 直接原因分析 173件	
15		集積根本原因分析 <sup>※2</sup> を要する事象件数	集積根本原因分析を要する事象件数	0件	

No.	分類	指標	収集データ	平成30年度	備考
16	内部監査	内部監査の実施回数	内部監査の実施回数	5回	
17		内部監査の指摘事項件数	内部監査の指摘事項件数	9件	
18		内部監査の指摘事項の処置を完了するまでの平均期間	内部監査の指摘事項のうち年度末時点で処置が未完了となっている件数(過年度からの繰越し案件を含む)。なお、再稼働後に処置すべきとしていたものは除く。	4件	
19		内部監査の指摘事項の処置期限の達成割合	内部監査の指摘事項の処置期限の達成割合	100%	
20		内部監査による指摘事項の再発件数	内部監査による指摘事項の再発件数	0件	
21	マネジメントレビュー	マネジメントレビューの実施回数	マネジメントレビューの実施回数	1回	
22		マネジメントレビューによる指示事項と未完了件数	①マネジメントレビューにおける指示事項件数 ②①のうち年度末時点で未完了の件数。ただし継続案件の計上については個別の案件毎に判断する。	① 2件 ② 0件	
23		マネジメントレビューによる再指示件数	マネジメントレビューによる再指示件数。ただし継続案件の計上については個別の案件毎に判断する。	0件	
24		発電所長レビューによる指示事項と未完了件数	①発電所長レビューにおける指示事項件数 ②①のうち年度末時点で未完了の件数。ただし継続案件の計上については個別の案件毎に判断する。	① 9件 ② 0件	
25		発電所長レビューによる再指示件数	発電所長レビューによる再指示件数。ただし継続案件の計上については個別の案件毎に判断する。	0件	
26	外部からの指摘	外部機関によるレビューの実施回数	OSARTによるレビューの実施回数	-	OSARTによるレビュー実施後に収集(平成30年度はOSARTによるレビューはなし。以下同様。)
27		外部機関からの指摘事項件数	OSARTにおける指摘事項件数	-	
28		外部機関の指摘事項の処置を完了するまでの平均期間	OSARTにおける指摘事項のうち年度末時点で処置が未完了の件数(過年度からの繰越し案件を含む)。なお、再稼働後に処置すべきとしていたものは除く。	-	
29		外部機関の指摘事項の処置期限の達成割合	OSARTにおける指摘事項の処置期限の達成割合	-	
30		外部機関による指摘事項の再発件数	OSARTによる指摘事項の再発件数。ただし継続案件の計上については個別の案件毎に判断する。	-	

※1 発電用軽水型原子炉施設の安全機能の重要度分類に関する審査指針で定められているクラス1、クラス2、クラス3に属する構築物、系統及び機器

※2 複数の類似事象から共通的な問題を抽出し解決するRCA(根本原因分析)